



▲物販ブースも賑わいました

▲オープニングセレモニーの様子
▲各地のご当地キャラクターたちとのひとコマ



▲真岡市を元気にPRしました！

抜けるような青空の下、全国各地から約130組のご当地キャラクターが参加し、ステージでのライブ、グルメや物産ブースなど多彩なイベントが開催されました。

市のブースでは、いちご関連の商品やSLグッズなどを販売し、コットベリーは、ステージで市の観光PRをしたり、来場者と記念撮影をしたりと、元気いっぱいイベントを盛り上げました。

▼9月28日(土)・29日(日) 横浜赤レンガ倉庫前
コットベリーが真岡市をPR
第1回ゆるキャラグルメフェスティバル



▲おにぎりとけんちん汁が配られました

▲おだかけをして乾燥

上手に刈れたよ！

▲約150人による手作業での稲刈り

参加者は、鎌の扱いに苦戦しながら、時折出てくるカエルやバッタに驚きつつも稲刈りを楽しんでいました。

稲刈りが終わった後は、おにぎりやけんちん汁を輪になって食べながら互いの労をねぎらいました。



▲稲刈りの前におだかけの準備

▼9月29日(日) 史跡桜町陣屋跡
報徳田で稲刈り
尊徳さんの田んぼで米作り体験



一生懸命働いた後のご飯はおいしいな！

▲尊徳太鼓の音色が響き渡りました♪



▲新しい発見があるガイドツアー



▲ミスコットン2014が決定！



サンパは楽しいな！



▲真岡のグルメ市も賑わいました

市内外から多くの方が訪れ、市民によるパフォーマンスを楽しんだり、グルメ市で味比べをしたりと祭りを満喫していました。ステージでは、ミスコットンコンテストが行われ、ミスコットンに小森沙織さん(島)、準ミスに鈴木さくらさん(市内勤務)が選ばれました。

同時開催された、モオカの休日では、さまざまな体験型プログラムが用意され、参加者は初めての体験を楽しんでいました。また、もおか観光コンシェルジュガイドツアーでは、参加者はガイドの丁寧な説明に、熱心に耳を傾けていました。



▲神聖な空気に包まれながら行われたモオカの休日「お寺ヨガ」

▼10月13日(日) 荒町本通りほか
もおかの魅力再発見
もおか木綿ふれあい祭り・モオカの休日・もおか観光コンシェルジュガイドツアー



▼9月17日(火) 他2日間 市内各所
いつまでもお元気で

9月の敬老の日に合わせ、井田市長が市内の高齢者宅(99歳以上の方)を訪問し、祝い金を手渡しました。市長が訪れると笑顔で出迎え、市長との会話を楽しんでいました。今年度、市内で99歳以上の方は、41人、最高齢の方は107歳です。いつまでもお元気で！



▼9月15日(日) 中村八幡宮
流鏝馬の妙技に歓声
やぶさめ

中村八幡宮の流鏝馬は、境内に向かって走る「凱旋流鏝馬」と言われています。歴史装束を身にまとい、参道を一気に駆け抜ける姿は、江戸時代を感じさせ、馬上から人馬一体となり見事に矢を放つ妙技と迫力に、集まった観衆からは大きな拍手が送られていました。



▼9月29日(日) 真岡りす村ふれあいの里
綿摘みとアレンジメント体験

今年は去年に比べ、たくさんの実がなったようで、強い日差しの中、参加者は汗をかきながら、袋いっぱいになるまで綿を摘んでいました。また、花の咲いている枝や綿がたくさん付いている枝などをカップに飾り付け、思い思いのアレンジを楽しんでいました。



▼9月23日(月) 根本山自然観察センター
虫とり名人になろう

根本山に生息している昆虫を、実際に捕まえてみんなで観察しました。子どもたちは、虫とり網を一生懸命振りながら、バッタやトンボなどを捕まえていました。なかには、トンボをあおむけにして失神させ、手のひらに載せて得意そうに見せてくれた子もいました。



▼10月6日(日) 井頭公園とその周辺
第30回真岡井頭マラソン大会

今年は来年開催される「ねんりんピック栃木2014マラソン交流大会」のリハーサル大会を兼ねて実施され、県内外から約1,600人のランナーが参加しました。秋の気配漂う井頭の森の爽やかな風を感じながら、ランナーたちは、元気いっぱい走っていました。



▼10月2日(水) 二宮コミュニティセンター
シニアライフ講演会

講師の義母が認知症を患った際の体験談を交えながら、認知症になっても自分らしく生きるひとつの手段として「上手に老いる自己点検ノート」の紹介などがありました。参加者は、終始なるほど感心した様子で、老いへの準備の必要性を感じているようでした。